

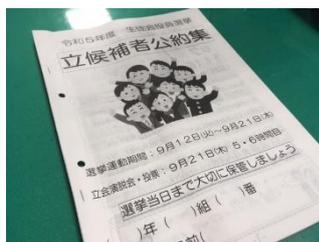
私が赴任した3校目の学校は、太宰府東中と同様に合唱がさかんでした。校内合唱コンクールのほかに、毎年3年生から有志を募り、夏休みにNHK音楽コンクール（通称；Nコン）に出場するのが伝統でした。赴任して1か月ほど経ったころには、Nコンに向けての取組がスタートしました。有志には、野球部やサッカー部などの運動部員も多数いました。Nコンでは課題曲と自由曲の2曲を演奏します。私はNコンを経験したことがありませんでした。ですから、どんな自由曲を選ばいいのか、部活動ではないため練習時間をどう確保するのかなどわからないことと不安ばかりが大きかったことを覚えています。そのような中、子どもたちは自由曲として歌いたい曲をすでに決めていました。それは、「航海」という曲でした。前年に先輩たちが歌っていた混声合唱組曲「海の詩」の1曲目である「海はなかった」が感動的で詩の世界観が迫ってくるようだった、だからその世界観を引き継ぎ、終曲である「航海」を自由曲として歌いたいというのです。その気持ちを聞いたとき「合唱がさかんである」ことが伝統ではなく、「合唱への思いがつながっていく」ことが伝統なのだと感じました。その後の練習は言うまでもなく意欲的で、Nコン本番では豊かでダイナミックな「航海」を演奏することができました。そして、次の年も、そのまた次の年も合唱への思いはつながっていきました。さて、太宰府東中でも、10月20日の校内合唱コンクールに向けた練習が始まり、思いがあふれる合唱が太宰府東中の校舎に響いています。



昨年度の3年生学年合唱の様子

### 「もっと素晴らしい学校にしたい」という思いであふれていました

9月21日（木）に生徒会役員改選に伴う立会演説会が行われました。太宰府東中の立会演説会は他の学校と異なり、パネルディスカッション形式です。あらかじめ準備した原稿を読むのではなく、事前に知らされていない質問に対し、立候補者は即座に自分の考えを述べなければなりません。かなり難易度の高いことだと思いますが、どの立候補者も太宰府東中の未来を見つめ、どうすればもっとよくなるのかをしっかりと考えていたからこそ、どんな質問に対しても堂々と述べる事ができていました。しかもその演説が終わると、立候補者同士が互いに称え合っているうえ、3年生が立候補者を温かく労う声かけをする姿がありました。その光景を見て、「これが太宰府東中の土台となっているのだ。これが太宰府東中の伝統なのだ」と思い、胸が熱くなりました。



### 合同防災教室での「ハザードマップ作り」は大きな学びとなりました！



9月15日（金）に合同防災教室（左写真）が行われました。合同防災教室では、7つの地区に分かれ、夏休みに情報収集していた危険箇所の写真データを持ち寄り、自治会長様のご指導やご助言をいただきながら、各地区のハザードマップを完成させました。大人と同じ感覚で危険な場所をチェックすることができていたり、

自分にはなかった視点で危険な場所をとらえていたりすることができ、生徒たちにとって大きな学びとなりました。また、防災士の原田久美子様から地域が求めている中学生の姿や身の回りにあるものでできる担架の作り方についてなど学ぶことができ、大変価値ある時間となりました。その後実施した第2回学校運営協議会（右写真）では、次年度の合同防災教室に向けてのたくさんのご意見をいただくことができました。

